

これまでの議論と今後の検討（未定稿）

※ 本資料は、資料1及びこれまでの議論を踏まえ、議論の便宜のために作成したもの

ミッション

- ◇ 学問の方向性や社会の在り方を議論
- ◇ 科学の向上発達及び科学の成果を通じて、国民の福祉及び我が国の発展に貢献、人類社会の福祉に寄与

◆ 活動方針の明確化 ⇒ 中期的な活動計画の策定

国民が納得できるメンバー

- ◇ **very best** な人たち（日本を代表する英知の集団）
 - ・ ミッション達成に必要な人材
 - ・ 選ばれることが名誉（コ・オペレーション方式の前提）
- ◇ 高いダイバーシティ（我が国の科学者の代表、国民の総意）
 - ・ 大学等の研究者（適切な分野構成）
 - ・ 産業界等、地方在住者、若手研究者、女性、外国人など

◆ 選考基準の言語化

- ・ ミッション達成に必要な資質（新しい価値の創造の視点）

国民に説明できる選考方法

- ◇ 会員構成に学問の進歩や社会の変化が自律的に反映する仕組み
- ◇ 透明かつ厳正なプロセス（コ・オペレーション方式の前提）
(特別な地位・権限、国による支援)
- ◆ 「会員の質」と「ダイバーシティ」、「専門性」と「透明性」の両立
- ◆ 新法人発足時は特別な選考方法を検討
 - ・ 外部の声、外部の目を入れて

会員が存分に働けるような仕組み

- ◆ 任期・再任、定年等の見直し
 - ・ 人材確保、活動への習熟、若手登用
(ミッションとの関係、人事の長期固定化などに留意)
 - ・ コ・オペレーション方式との関係
 - ・ 雇用、社会状況
- ◆ 会員数の増員
 - ・ ミッション遂行に必要、ダイバーシティの発揮
(フルセットをそろえる必要性、会員の質との関係)
- ◆ 連携会員制度の見直し
 - ・ 段階的に減少、廃止？
- ◆ 事務局機能の強化

会長の在り方の見直し

- ◆ 会長のミッションの明確化
- ◆ 勤務形態（常勤、非常勤）
- ◆ 会長のサポート体制
 - ・ 事務局機能の強化、運営助言委員会
- ◆ 慎重かつ丁寧な選考
 - ・ リーダーシップなどの必要な資質を考慮